





1. 概要

- 投票: 10月30日(日)、ブラジルにて大統領選挙の決選投票が実施。10月2日の第一回投票での上位2候補間で争い。
- 結果: 同日21時(日本時間31日9時)の選挙高等裁判所(TSE)の発表(開票率99.95%)によれば、**ルーラ候補(左派)が50.9%、ボルソナーロ候補(右派)が49.1%の得票率。同日21時(日本時間31日9時)時点でボルソナーロ候補は敗北宣言を行っていないものの、ルーラ候補が勝利する見通し。他方、これまでボルソナーロ候補は電子投票システムでの不正を主張しており、今後、投票再集計の要求や、選挙結果を受け入れない可能性がある点につき留意が必要。**米仏英独等はルーラ候補への祝意を表明。
- 大統領就任式: 2023年1月1日(日)予定。任期は4年間(連続して2期まで)。

2. 選挙結果

【当選】ルイス・イナシオ・ルーラ・ダ・シルヴァ候補(76):労働者党、左派		得票率
	<ul style="list-style-type: none">●元大統領(2003~2010年)。貧困格差の解消等社会問題への取組みを重視。長年、労働組合の指導者として活動した経験から、対話と交渉を重視する政治姿勢。●大統領退任後、汚職容疑により有罪判決を受けて投獄、2021年4月、政治的権利を回復。【政策】格差是正や社会保障の強化等を重視。国営企業の保護及び経済発展のための国営企業の活用、最低金見直し、労働組合の強化、エネルギーに対する国家主権の確保等を主張。	50.90%
【落選】ジャイル・ボルソナーロ候補(67):自由党、右派		得票率
	<ul style="list-style-type: none">●現職大統領(2019年1月1日~)。陸軍軍人(最高位は大尉)、リオデジャネイロ市議会議員、連邦下院議員を務めた後、2019年に大統領に就任(任期4年)。【政策】財政再建による経済の安定、構造改革による支出削減、国営企業の民営化とコンセッションの推進、所得税の免除対象の拡大等の税の減免や簡素化等を主張。	49.10%